

癩疹의 辨證에 따른 治法과 治方の 文獻的 考察

高 祐 新*

I. 緒 論

癩疹은 西洋醫學의 蕁麻疹으로서 柳¹⁾는 이는 흔한 질병중에 하나로 많은 사람들이 평생에 한번 정도는 겪게 되는 症狀인데 一種의 흔히 볼 수 있는 알레르기성 皮膚病이라 하였다. 金²⁻⁵⁾은 外部的인 刺戟에 대하여 과도하게 反應하여 초래되는 自我의 免疫學的 組織 損傷에 의한 疾患을 모두 알레르기성 疾患(예; 천식, 담마진)이라고 말하였다. 알레르기 반응과 관련있는 皮膚질환으로는 두드러기, 아토피성 피부염, 건선, 접촉성 피부염 등이 있는데⁶⁾ 알레르기성 疾患中 하나인 蕁麻疹은 皮膚의 혈관 반응으로서 특징적인 膨疹이 나타나고 붉은 발적으로 둘러싸여 있으며 심한 소양감이 나타난다. 皮膚 발진은 반상 홍반이나 구진으로 이루어져 있으며 전신성이 더 흔하고 크기는 작은 구진에서 큰 판까지 다양하며 호발부위는 몸통, 엉덩이, 가슴부위이고 皮膚병변외에 비염, 천식, 복부동통 등이 나타나기도 하고 심한 경우 인두의 부종으로 생명이 위험한 경우도 있다⁷⁾고 하였다. 이와같이 작은 발진에서 부터 심하면 생명을 지장을 주는 담마진 즉 癩疹에 대한 韓醫學의 文獻的 考察로는, 高⁸⁾가 蕁麻疹은 韓醫學의 癩疹, 瘡疔, 風疹塊, 風痧, 風搔癩疹 등의 病名으로 나타나 있다 하였고, 原因으로는 邪氣在皮膚한데 風寒相折할때 또는 人體虛한데 風邪所折할때 그 외 비릿한 飲食을 먹음으로써, 情志狀態의 停滯時, 飲食의 不節制로 말미암아 胃腸間에 實熱이 蓄積되는 것으로 나

타난다 하였으며, 症狀으로는 身體風搔而痒, 搔之隱隱而起하여 特有的 局限된 浮腫이 突然發生하여 甚한 搔痒感을 느끼게 되며 또 突然消散하여 조금도 痕跡을 남기지 않는다고 하였다. 크기는 적게는 麻疹에서 크게는 大豆까지 있으며, 색깔로 赤疹과 白疹으로 나누고, 發生部位는 全身이며, 形態는 圓形, 地圖上 等이며 他臟器에 影響을 미쳐서 惡心, 嘔吐, 腹痛, 呼吸困難 등이 發生한다 하였다.

이에 著者는 현재 飲食物의 不節制나 外的인 邪氣(대기오염, 세균 등)등으로 증가추세에 있는 두드러기에 관한 여러 韓醫書를 조사하여 癩疹에 대한 辨證을 살펴보고, 또한 辨證에 대한 治法과 治方들이 어떻게 구성되어 있는지를 조사하고 多用된 處方과 藥物이 어떠한지를 整理하여 두드러기에 대한 韓方의 治療領域을 넓히고자 本 考察을 통하여 보고하는 바이다.

II. 研究 資料 및 方法

1. 研究資料

資料는 《東醫寶鑑》⁹⁾外 32卷을 참조하였다.

2. 研究方法

(1) 治法の 頻度數는 各各의 參考 文獻에 따라 같은 治法이라도 頻度數를 二重으로 合하였다. (유사한 意味를 가지고 있으면 同一한 治法으로 간주하였다)

(2) 處方の 頻度數는 各各의 參考 文獻에 따라 같은 處方이라도 頻度數를 二重으로 合하였다.

* 東義大學校 韓醫科大學 外官科教室

(3) 個個 藥物의 頻度數는 各各의 參考 文獻에 따라 같은 處方이라도 頻度數를 二重으로 合하였다.

(4) 加減의 處方은 加減의 藥物이 記載되어 있지 않은 것이 많으므로 原方만 記載하였다.

(5) 處方의 內容이 記載되어 있지 않은 경우는 《校訂方劑大辭典》을 參照하였다.

Ⅲ. 研究 內容

1. 辨證에 따른 治法과 治方의 整理

No.	書 名	辨 證	治 法	治 方
1	中醫外科學 ¹⁰⁾	風熱型 風寒型 腸胃濕熱型 衝任不調型 氣血兩虛型	祛風清熱利濕 祛風散寒, 調和營衛 祛風解表通腑泄熱 調攝衝任 調補氣血	消風散 桂枝湯加味 防風通聖散 合 茵陳蒿湯 ¹⁾ 加減 四物湯 合 二仙湯加減 八珍湯
2	實用中醫外科學 ¹¹⁾	風熱型 風寒型 腸胃實熱型 氣血兩虛型	散風清熱 祛風散寒 祛風解表, 通腑泄熱 養血祛風, 益氣固表	散風清熱飲, 消風散, 白鮮皮飲 祛風散寒飲, 荊防敗毒散 防風通聖散 常歸飲子 合 玉屏風散加味
3	中醫外科學 ¹²⁾	風熱型 風寒型 陰血不足型	辛涼透表, 清熱宣肺 辛溫解表, 宣肺散寒 滋陰養血, 疏散風邪	荊防方 麻黃方加減 經驗方
4	中醫外科臨床手冊 ¹³⁾	風寒型 風熱型 腸胃濕熱型 衝任不調型 氣血兩虛型 脾胃虛寒型	疏風散寒, 調和營衛 祛風清熱利濕 祛風解表, 通腑泄熱 調攝衝任 調補氣血 理中健脾, 調和營衛	桂枝湯加減 消風散加減 防風通聖散 合 茵陳蒿湯加減 四物湯 合 二仙湯加減 八珍湯加味 獅子理中湯 合 桂枝湯加減
5	中醫外科護理 ¹⁴⁾	風熱 風寒 腸胃濕熱 氣血兩虛	疏風清熱 疏風散寒, 調和營衛 祛風解表, 通腑泄熱 調補氣血	消風散 桂枝湯加減 防風通聖散加減 八珍湯加減
6	外科大成 ¹⁵⁾			加味羌活散 補中益氣湯 十全大補湯 加味小柴胡湯 加味逍遙散 羽液膏
7	中醫外科學 ¹⁶⁾	風寒證 風熱證 腸胃濕熱證 氣血兩虛證 衝任不調證	疏風散寒, 調和營衛 疏風清熱 疏風解表, 通腑泄熱 調補氣血 調攝衝任	桂枝湯 或 麻桂各半湯加減 消風散加減 防風通聖散 合 茵陳蒿湯加減 八珍湯加減 四物湯 合 二仙湯加減
8	常見皮膚病中醫治療簡編 ¹⁷⁾	急性蕁麻疹 慢性蕁麻疹	解表祛風, 泄熱利濕 固表祛風	消風散加減 加味玉屏風散

No.	書名	辨證	治法	治方
9	中醫外科學 ¹⁸⁾	風寒證 風熱證 腸胃實熱證 血熱症 血瘀證 氣血兩虛證 脾胃虛寒證 衝任不調證	祛風散寒, 調和營衛 疏風清熱 疏風解表, 通腑泄熱 涼血清熱, 疏風止痒 活血祛風 調補氣血 溫中健脾, 調和營衛 調攝衝任	荊防敗毒散加減 消風散加減 防風通聖散 合 茵陳蒿湯加減 犀角地黃湯 合 消風散加減 桃紅四物湯加減 八珍湯加減 附子理中湯 合 桂枝湯加減 二仙湯 合 四物湯加減
10	皮科便覽 ¹⁹⁾	血熱生風, 風盛作痒한 것 再發性으로 風邪久竊, 癩阻經脈한 것	清熱涼血, 消風止痒 驅風通絡, 活血化癩	涼血消風飲 血府逐瘀湯
11	問答式 五官外科學 ²⁰⁾	風熱型 風寒型 胃腸濕熱型 氣血兩虛型 衝任不調型 蟲積內擾型	涼血清血, 疏風止痒 溫風散寒, 調和營衛 清泄腸胃濕熱 養血祛風, 益氣固表 調攝衝任, 祛風止痒 驅蟲消積導滯	消風散加減 桂枝湯加減 防風通聖散加減 四物消風散, 玉屏風散加減 四物湯, 四物消風散加減 烏梅丸
12	洪家定診秘傳 ²¹⁾			加味升葛湯 加味建中湯 加味藿香正氣散 加味建理湯 清肌散 加味四物湯 加味平四湯 加味四六湯
13	實用中醫外科學 ²²⁾	風寒型 1) 反復發生 風熱型 風濕型 脾胃型 1) 脾胃氣滯 2) 脾胃虛寒 血熱型 血瘀型 血虛型 衝任不調型	祛風散寒, 調和營衛 固衛御風 祛風清熱 健脾勝濕, 祛風止痒 健脾祛風, 理氣止痛 溫中健脾, 調和營衛 涼血清熱, 消風止痒 活血祛風 息風潛陽 調攝衝任	荊防敗毒散加減 玉屏風散加桂枝湯加減 牛蒡, 防風, 蟬衣, 白蒺藜, 山梔, 黃芩, 銀花, 生甘草, 苦參片 平胃散加減 除濕胃苓湯加減 附子理中湯加桂枝湯加減 消風散加減 四物湯 合 二仙湯加減

No.	書名	辨證	治法	治方
14	陳無擇三因方 ²³⁾			加味羌活湯 加味烏荊丸
15	東醫寶鑑 ⁹⁾			樺皮散 清肌散 加味羌活散 犀角消毒飲 加味烏荊元
16	丹溪心法附餘 ²⁴⁾			玄參升麻湯 陽毒升麻湯 梔子仁湯 化癥湯 黃連橘皮湯 調中湯 消毒犀角飲子 通聖散
17	金匱鈞玄 ²⁵⁾			通聖散
18	丹溪治法心要 ²⁶⁾			通聖散 補中益氣湯
19	最新漢方臨床學 ²⁷⁾	風熱性 風寒性 胃腸濕熱性 衝任不調性 氣血兩虛性	祛風清熱利濕 祛風散寒 祛風利濕泄熱 調和衝任 補氣血	消風散加減 桂枝湯加減 防風通聖散 合 茵陳蒿湯加減 四物湯 合 二仙湯加減 八珍湯加減
20	李常和治療指針 ²⁸⁾			胡麻散 清肌散 藿香正氣散
21	脈因證治 ²⁹⁾			消毒湯
22	醫宗金鑑 ³⁰⁾			秦艽牛蒡湯 當歸飲子
23	濟衆新編 ³¹⁾			川芎茶調散 人參羌活散 消風散 烏藥順氣散 升麻葛根湯 清肌散

No.	書名	辨證	治法	治方
24	醫門寶鑑 ³²⁾			清肌散 升麻葛根湯 蓮翹敗毒散 解毒湯 消風散 理中湯 防風通聖散
25	蒼濟證方 ³³⁾			加味平胃散 白芍藥桂枝湯 加味清肌湯 加味升葛湯 金何飲 加味潤燥湯 加味理中湯 消風散
26	古今醫統大全 ³⁴⁾			加味羌活散 胡麻散 天麻散 大胡麻散 殭蠶散 玄參升麻湯 消風散 犀角消毒飲
27	增注類證活人書 ³⁵⁾			黑膏 葛根橘皮湯 黃連橘皮湯 化斑湯 玄參升麻湯 阿膠大青湯 豬膽梔子湯 調胃承氣湯
28	楠樞醫學大全 ³⁶⁾			皮膚起疙塔搔癢方 羌活湯
29	東醫臨床方劑學 ³⁷⁾			加味升葛湯
30	診療斗 優秀處方 ³⁸⁾			葛根湯 香蘇散 十味敗毒散 茵陳蒿湯

No.	書名	解證	治法	治方
31	漢方臨床四十年 ³⁹⁾			清肌散 承氣湯 加味升麻葛根湯 樺皮散 赤小豆湯 加味四物湯 加味香蘇散 防風通聖散 牛蒡散 加味升葛湯 加味敗毒散 小建中湯
32	千金翼方 ⁴⁰⁾			石南湯 青羊脂膏 楓香湯 地榆湯
33	外臺秘要 ⁴¹⁾			深師散方 千金應軫方 崔氏方 延年萌蘗方 深師方 粉散方 千金方 延年萌蘗膏 荒蔚浴湯

2. 治方과 構成藥物의 整理

No.	書名	治方	構成藥物	備考
1	中醫外科學 ¹⁰⁾	1)消風散 2)桂枝湯 3)防風通聖散 4)茵陳蒿湯 5)四物湯 6)二仙湯 7)八珍湯	荊芥, 防風, 當歸, 生地黃, 苦參, 蒼朮, 蟬蛻, 胡麻仁, 牛蒡子, 知母, 石膏, 甘草, 木通 桂枝, 芍藥, 甘草 防風, 荊芥, 蓮翹, 麻黃, 薄荷, 川芎, 當歸, 白芍藥, 白朮, 山梔子, 大黃, 芒硝, 石膏, 黃芩, 桔梗, 甘草, 滑石 茵陳, 梔子, 大黃 熟地黃, 當歸身, 白芍藥, 川芎 仙茅, 仙靈脾, 當歸, 巴戟肉, 黃柏, 知母 人參, 白朮, 茯苓, 甘草, 當歸, 白芍藥, 地黃, 川芎	
2	實用中醫外科學 ¹¹⁾	1)散風清熱飲 2)消風散 3)白鮮皮飲 4)祛風散寒飲 5)荊防敗毒散 6)防風通聖散 7)當歸飲子合玉屏風散加味	金銀花, 白鮮皮, 生地黃, 蟬蛻, 牛蒡子, 徐長卿, 浮萍草, 菊花, 赤芍藥, 丹皮, 蓮翹, 甘草 荊芥穗, 甘草, 川芎, 羌活, 僵蠶, 防風, 茯苓, 蟬退, 藿香葉, 人參, 厚朴, 陳皮 白鮮皮, 金銀花, 生地黃, 赤芍藥, 丹參, 黃芩, 蟬蛻, 當歸, 蒼朮, 荊芥, 防風 桂枝, 荊芥, 防風, 羌活, 白芷, 當歸, 川芎, 丹參, 麻黃, 甘草 荊芥, 防風, 人參, 羌活, 獨活, 前胡, 柴胡, 桔梗, 茯苓, 川芎, 甘草 防風, 荊芥, 蓮翹, 麻黃, 薄荷, 川芎, 當歸, 白芍藥, 白朮, 山梔子, 大黃, 芒硝, 石膏, 黃芩, 桔梗, 甘草, 滑石 黃芪, 當歸, 生地黃, 何首烏, 黨參, 白芍藥, 荊芥, 防風, 刺蒺藜, 白朮, 川芎	1)校訂方劑大辭典卷五 2)校訂方劑大辭典卷五
3	中醫外科學 ¹²⁾	荊防方 麻黃方加減 經驗方	荊芥穗, 防風, 銀花, 牛蒡子, 丹皮, 浮萍草, 乾生地, 薄荷, 黃芩, 蟬衣, 甘草, 僵蠶 麻黃, 杏仁, 乾薑皮, 防風, 浮萍草, 白鮮皮, 芥穗, 丹皮, 蟬衣, 甘草, 陳皮 熟地黃, 當歸, 何首烏, 赤芍藥, 白芍藥, 黃芪, 麻黃, 防風, 芥穗	

No.	書名	治方	構成藥物	備考
4	中醫外科臨床手冊 ¹³⁾	1)桂枝湯 2)消風散 3)防風通聖散 4)茵陳蒿湯 5)四物湯 6)二仙湯 7)八珍湯 8)附子理中湯 9)桂枝湯	桂枝, 芍藥, 甘草 荊芥, 防風, 當歸, 生地, 苦參, 蒼朮, 蟬蛻, 胡麻仁, 牛蒡子, 知母, 石膏, 甘草, 木通 防風, 荊芥, 蓮翹, 麻黃, 薄荷, 川芎, 當歸, 白芍藥, 白朮, 山梔子, 大黃, 芒硝, 石膏, 黃芩, 桔梗, 甘草, 滑石 茵陳, 梔子, 大黃 熟地黃, 當歸, 白芍藥, 川芎 仙茅, 仙靈脾, 當歸, 巴戟肉, 黃柏, 知母 人蔘, 白朮, 茯苓, 甘草, 當歸, 白芍藥, 地黃, 川芎 附子, 人蔘, 乾薑, 白朮, 甘草 桂枝, 芍藥, 甘草	【外科大成에 記載되어 있는 處方の 適應症】 1)加味羌活散 ⇒ 治風寒暑濕外搏肌膚. 發爲癩疹. 憎寒發熱. 遍身搔痒. 或赤或白. 甚則心迷悶亂. 口苦 2)補中益氣湯 ⇒ 治瘡瘍元氣不足. 四肢倦怠. 口乾發熱. 飲食無味. 或飲食失節. 或勞倦身熱. 脈洪大而無力. 或頭痛而惡寒. 或聲高而喘. 身熱而煩. 俱宜服此
5	中醫外科護理 ¹⁴⁾	1)消風散 2)桂枝湯 3)防風通聖散 4)八珍湯	荊芥, 防風, 當歸, 生地, 苦參, 蒼朮, 蟬蛻, 胡麻仁, 牛蒡子, 知母, 石膏, 甘草, 木通 桂枝, 芍藥, 甘草 防風, 荊芥, 蓮翹, 麻黃, 薄荷, 川芎, 當歸, 白芍藥, 白朮, 山梔子, 大黃, 芒硝, 石膏, 黃芩, 桔梗, 甘草, 滑石 人蔘, 白朮, 茯苓, 甘草, 當歸, 白芍藥, 地黃, 川芎	3)十全大補湯 ⇒ 治潰瘍發熱. 或惡寒. 或作痛. 或膿多. 或膿清. 或自汗盜汗. 及徧身流注瘰癧便毒諸瘡. 久不作膿. 或膿成不潰. 潰而不斂. 若氣血不足之人. 結腫未成膿者. 宜加陳皮, 香附子, 半夏, 蓮翹. 服之自消 4)加味小柴胡湯 ⇒ 治肝膽二經部位熱毒瘰癧. 及一切瘡瘍. 發熱潮熱. 并小腹脇股結核囊癰便毒. 或耳內耳下生瘡
6	外科大成 ¹⁵⁾	1)加味羌活散 2)補中益氣湯 3)十全大補湯 4)加味小柴胡湯 5)加味逍遙散 6)羽液膏	羌活, 前胡, 人蔘, 桔梗, 炙甘草, 枳殼, 川芎, 天麻, 茯苓, 蟬退, 薄荷 黃芪, 炙甘草, 人蔘, 當歸, 白朮, 升麻, 柴胡, 陳皮, 麥門冬, 五味子 人蔘, 黃芪, 白朮, 當歸, 白芍, 川芎, 熟地, 茯苓, 肉桂, 甘草 柴胡, 黃芩, 人蔘, 半夏, 膽草, 梔子, 當歸, 白芍, 甘草 當歸, 白芍, 白朮, 茯苓, 柴胡, 薄荷, 甘草, 丹皮, 香附白礬, 童便, 黃酒	5)加味逍遙散 ⇒ 治婦人血虛. 五心煩熱. 肢體疼痛. 頭目昏重. 心忡頰赤. 口燥咽乾. 發熱盜汗. 食少嗜臥. 及血熱相搏. 月水不調. 寒熱如瘧. 臍腹作痛. 並治室女血弱. 榮衛不調. 痰嗽潮熱. 肌體羸瘦. 漸成骨蒸等症 6)羽液膏 ⇒ 治斑疹. 風痒不止

No.	書名	治方	構成藥物	備考
7	中醫外科學 16)	1)桂枝湯 2)麻桂各半湯加減 3)消風散 4)防風通聖散 5)茵陳蒿湯 6)八珍湯 7)四物湯 8)二仙湯	桂枝, 芍藥, 甘草 荊芥, 防風, 當歸, 生地, 苦參, 蒼朮, 蟬蛻, 胡麻仁, 牛蒡子, 知母, 石膏, 甘草, 木通 防風, 荊芥, 蓮翹, 麻黃, 薄荷, 川芎, 當歸, 白芍藥, 白朮, 山梔子, 大黃, 芒硝, 石膏, 黃芩, 桔梗, 甘草, 滑石 茵陳, 梔子, 大黃 人參, 白朮, 茯苓, 甘草, 當歸, 白芍藥, 地黃, 川芎 熟地黃, 當歸, 白芍藥, 川芎 仙茅, 仙靈脾, 當歸, 巴戟肉, 黃柏, 知母	
8	中醫外科學 18)	1)荊防敗毒散 2)消風散 3)防風通聖散 4)茵陳蒿湯 5)犀角地黃湯 6)消風散 7)桃紅四物湯 8)八珍湯 9)附子理中湯 10)桂枝湯 11)二仙湯 12)四物湯	荊芥, 防風, 柴胡, 前胡, 羌活, 獨活, 枳殼, 桔梗, 茯苓, 川芎, 甘草, 人參, 薄荷 荊芥, 防風, 當歸, 生地, 苦參, 蒼朮, 蟬蛻, 胡麻仁, 牛蒡子, 知母, 石膏, 甘草, 木通 防風, 荊芥, 蓮翹, 麻黃, 薄荷, 川芎, 當歸, 白芍藥, 白朮, 山梔子, 大黃, 芒硝, 石膏, 黃芩, 桔梗, 甘草, 滑石 茵陳, 梔子, 大黃 犀角, 生地黃, 芍藥, 牡丹皮 荊芥, 防風, 當歸, 生地, 苦參, 蒼朮, 蟬蛻, 胡麻仁, 牛蒡子, 知母, 石膏, 甘草, 木通 當歸, 赤芍藥, 生地黃, 川芎, 桃仁, 紅花 人參, 白朮, 茯苓, 甘草, 當歸, 白芍藥, 地黃, 川芎 附子, 人參, 乾薑, 白朮, 甘草 桂枝, 芍藥, 甘草 仙茅, 仙靈脾, 當歸, 巴戟肉, 黃柏, 知母 熟地黃, 當歸, 白芍藥, 川芎	1)校訂方劑大辭典卷三 2)校訂方劑大辭典卷三 3)校訂方劑大辭典卷三

No.	書名	治方	構成藥物	備考
9	常見皮膚病 中醫治療簡 編 ¹⁷⁾	1)消風散 2)加味玉屏風散	荊芥, 防風, 當歸, 苦參, 蒼朮, 胡麻仁, 牛蒡子, 知母, 木通, 生地黃, 甘草, 石膏, 蟬蛻 北芪, 當歸, 甘草, 白朮, 防風	1)急性蕁麻疹 2)慢性蕁麻疹
10	皮科使覽 ¹⁹⁾	1)涼血消風飲 2)血府逐瘀湯	生地, 丹皮, 赤芍, 當歸, 紫草, 荊芥, 蟬衣, 知母, 石膏 當歸尾, 赤芍, 桃仁, 生地, 丹皮, 烏蛇, 蟬衣, 地龍, 荊芥, 白 蒺藜	
11	問答式 五 官外科學 ²⁰⁾	1)消風散 2)桂枝湯 3)防風通聖散 4)四物消風散 5)玉屏風散 6)四物湯 7)四物消風散 8)烏梅丸	荊芥穗, 甘草, 川芎, 羌活, 防風, 茯苓, 蟬蛻, 藿香, 人參, 厚 朴, 陳皮 桂枝, 芍藥, 甘草 防風, 川芎, 當歸, 芍藥, 大黃, 芒硝, 蓮翹, 薄荷, 麻黃, 石 膏, 桔梗, 黃芩, 白朮, 梔子, 荊芥穗, 滑石, 甘草 當歸, 川芎, 防風, 荊芥穗, 赤芍藥, 生地黃, 白鮮皮, 薏苡仁 黃芪, 防風, 白朮 熟地黃, 當歸, 白芍藥, 川芎 當歸, 川芎, 防風, 荊芥穗, 赤芍藥, 生地黃, 白鮮皮, 薏苡仁 烏梅, 細辛, 附子, 桂皮, 人參, 黃柏, 乾薑, 黃連, 當歸, 川椒	1)校訂方劑大辭典卷三 2)校訂方劑大辭典卷三 3)校訂方劑大辭典卷三 4)校訂方劑大辭典卷三 5)校訂方劑大辭典卷三 6)校訂方劑大辭典卷三 7)校訂方劑大辭典卷三 8)校訂方劑大辭典卷三
12	東醫寶鑑 ⁹⁾	1)樺皮散 2)清肌散 3)加味羌活散 4)犀角消毒飲 5)加味烏荊元	樺皮, 枳殼, 杏仁, 荊芥穗, 甘草 柴胡, 前胡, 羌活, 獨活, 枳殼, 桔梗, 赤茯苓, 川芎, 甘草, 人 參, 薄荷, 荊芥, 防風, 天麻, 蟬殼 羌活, 前胡, 人參, 桔梗, 枳殼, 川芎, 天麻, 赤茯苓, 甘草, 蟬 殼, 薄荷 鼠黏子, 荊芥, 防風, 甘草, 犀角 川烏, 荊芥穗, 薄荷, 當歸	1)樺皮散⇒ 治肺藏風遍身癢疹瘙癢成瘡或作疥 2)清肌散⇒ 治癩疹或赤或白瘙癢 3)加味羌活散⇒ 治癩疹瘙癢 4)犀角消毒飲⇒ 治丹毒及瘡疹癩疹 5)加味烏荊元⇒ 治癩疹上攻頭面赤腫瘙癢皮脫落 作瘡浸淫走注有似虫行
13	金匱鈞玄 ²⁵⁾	1)通聖散	川芎, 當歸, 麻黃, 薄荷, 蓮翹, 白芍藥, 黃芩, 石膏, 桔梗, 滑 石, 荊芥, 梔子, 白朮, 甘草	

No.	書名	治方	構成藥物	備考
14	洪家定診秘傳 ²¹⁾	1)加味升葛湯	山查, 葛根, 樺皮, 蘿卜子, 升麻, 白芍藥, 黃芩, 橘皮, 厚朴, 浮萍, 甘草, 薄荷.	1)加味升葛湯 ⇒ 治食毒有熱로 癩疹濕疹
		2)加味建中湯	白芍藥, 黃芪, 山查, 羅蔔子, 茵陳, 樺皮, 枳殼, 木香, 薑黃, 甘草, 薄荷	2)加味建中湯 ⇒ 治胃腸結核로 因하여 肝炎도 되고 右脈이 弱하고 無熱癩疹通
		3)加味霍香正氣散	樺皮, 藿香, 蘇葉, 山查, 蘿卜子, 浮萍, 白芷, 大腹皮, 白茯苓, 白朮, 陳皮, 半夏, 桔梗, 甘草	3)加味霍香正氣散 ⇒ 通治癩疹濕疹
		4)加味建理湯	人參, 乾薑, 白朮, 桂枝, 白芍藥, 甘草, 枳殼, 薑黃, 木香	4)加味建理湯 ⇒ 治手足이나 全身皮膚가 黑色이 되며 皮軟血寒
		5)清肌散	柴胡, 前胡, 桔梗, 枳殼, 赤茯苓, 羌活, 獨活, 荊芥, 防風, 川芎, 天麻, 薄荷, 蟬退, 甘草	5)清肌散 ⇒ 治外感風寒으로 發한 癩疹에 有熱
		6)加味四物湯	山查, 蘿卜子, 桑枝, 當歸, 川芎, 白芍藥, 熟地黃, 橘皮, 厚朴, 黃芩, 浮萍, 棉花子	6)加味四物湯 ⇒ 治食傷胃炎癩疹濕疹手足掌皮強
		7)加味平四湯	樺皮, 蒼朮, 山查, 桑枝, 蘿卜子, 陳皮, 當歸, 川芎, 白芍藥, 熟地黃, 厚朴, 棉花子, 黃芩, 浮萍, 甘草	7)加味平四湯 ⇒ 上同
		8)加味四六湯	熟地黃, 山藥, 山茱萸, 樺皮, 山查, 當歸, 蘿卜子, 白茯苓, 牡丹皮, 木香, 澤瀉, 川芎, 白芍藥, 浮萍, 荊芥, 防風	8)加味四六湯 ⇒ 治貧血火盛하여 脈搏이 百以上되고 右脈이 實하고 年久한 癩疹
15	實用中醫外科學 ²²⁾	1)前防敗毒散	荊芥, 防風, 柴胡, 前胡, 羌活, 獨活, 枳殼, 桔梗, 茯苓, 川芎, 甘草, 人參, 薄荷	
		2)玉屏風散	黃芪, 白朮, 防風	
		3)桂枝湯	桂枝, 芍藥, 甘草	
		5)平胃散	蒼朮, 厚朴, 陳皮, 甘草	
		6)除濕胃苓湯	蒼朮, 厚朴, 陳皮, 豬苓, 澤瀉, 赤茯苓, 白朮, 滑石, 防風, 山梔子, 木通, 肉桂, 甘草	
		7)附子理中湯	附子, 人參, 乾薑, 白朮, 甘草	
		8)桂枝湯	桂枝, 芍藥, 甘草	
		9)消風散	荊芥, 防風, 當歸, 生地, 苦參, 蒼朮, 蟬蛻, 胡麻仁, 牛蒡子, 知母, 石膏, 甘草, 木通	
		12)四物湯	熟地黃, 當歸, 白芍, 川芎	
		13)二仙湯	仙茅, 仙靈脾, 當歸, 巴戟肉, 黃柏, 知母	

No.	書名	治方	構成藥物	備考
16	陳無擇三因方 ²³⁾	1)加味羌活湯	羌活, 前胡, 人參, 桔梗, 甘草, 枳殼, 川芎, 天麻, 茯苓, 蟬退, 薄荷	1)加味羌活湯⇒ 治風寒暑濕. 外搏肌膚. 發癢軫. 憎寒發熱. 徧體搔痒. 隨藏氣虛實. 或赤或白. 心迷悶亂. 口乾咽苦
		2)加味烏荊丸	川烏, 荊芥, 杜當歸, 薄荷	2)加味烏荊丸⇒ 治癢軫上攻. 頭面赤腫. 搔痒枝皮使脫落. 作瘡作痒作痛. 淫液走注. 有如虫行
17	丹溪心法附餘 ²⁴⁾	1)玄參升麻湯	玄參, 升麻, 甘草	1)玄參升麻湯⇒ 治傷寒失下. 熱毒在胃. 發癢. 或汗下吐後. 餘毒不散. 表虛裏實. 發於外
		2)陽毒升麻湯	升麻, 犀角, 射干, 黃芩, 人參, 甘草	2)陽毒升麻湯⇒ 治陽毒赤斑. 狂言. 咽喉痛. 出膿血
		3)梔子仁湯	梔子仁, 赤芍藥, 大青, 知母, 升麻, 黃芩, 石膏, 甘草, 杏仁, 柴胡	3)梔子仁湯⇒ 治發斑. 煩燥面赤. 咽痛潮熱
		4)化癥湯	人參, 石膏, 知母, 甘草	4)化癥湯⇒ 治傷寒. 汗下後. 癥發脈虛
		5)黃連橘皮湯	黃連, 陳橘皮, 杏仁, 枳實, 麻黃, 葛根, 厚樸, 甘草	5)黃連橘皮湯⇒ 治濕毒發癢
		6)調中湯	蒼朮, 陳皮, 砂仁, 藿香, 芍藥, 甘草, 桔梗, 半夏, 白芷, 羌活, 枳殼, 川芎, 麻黃, 桂枝	6)調中湯⇒ 治內傷外感而發陰斑
		7)消毒犀角飲子	牛蒡子, 荊芥, 防風, 甘草	
		8)通聖散	川芎, 當歸, 麻黃, 薄荷, 蓮翹, 白芍藥, 黃芩, 石膏, 桔梗, 滑石, 荊芥, 梔子, 白朮, 甘草	
18	最新漢方臨床學 ²⁷⁾	1)消風散	石膏, 苦參, 荊芥穗, 防風, 牛蒡子, 當歸, 黃芩, 知母, 蒼朮, 通草, 蟬退, 甘草, 生地黄	
		2)桂枝湯	桂枝, 白芍藥, 甘草	
		3)防風通聖散	滑石, 甘草, 石膏, 黃芩, 桔梗, 防風, 川芎, 當歸, 赤芍藥, 大黃, 麻黃, 薄荷, 蓮翹, 芒硝, 荊芥, 白朮, 梔子	
		4)茵陳蒿湯	茵陳, 大黃, 梔子	
		5)四物湯	當歸, 川芎, 熟地黄, 白芍藥	
		6)二仙湯	仙茅, 仙靈脾, 當歸, 巴戟, 黃柏, 知母	
		7)八珍湯	人參, 白朮, 茯苓, 甘草, 當歸, 川芎, 熟地黄, 白芍藥	

번호	書名	治方	構成藥物	備考
19	丹溪治法心要 ²⁶⁾	1)通聖散 2)補中益氣湯	川芎, 當歸, 麻黃, 薄荷, 蓮翹, 白芍藥, 黃芩, 石膏, 桔梗, 滑石, 荊芥, 梔子, 白朮, 甘草 黃芪, 甘草, 人參, 白朮, 當歸身, 陳皮, 升麻, 柴胡	校訂方劑大辭典卷五
20	李常和治療指針 ²⁸⁾	1)胡麻散 2)清肌散 3)藿香正氣散	胡麻, 苦參, 荊芥, 白何首烏, 威靈仙, 防風, 石菖蒲, 牛蒡子, 甘菊, 蔓荊子, 白蒺藜, 甘草, 薄荷 柴胡, 前胡, 羌活, 獨活, 川芎, 枳殼, 桔梗, 白茯苓, 人參, 甘草, 荊芥, 防風, 天麻, 薄荷, 蟬退 藿香, 砂仁, 厚朴, 茯苓, 紫蘇, 陳皮, 白朮, 半夏, 桔梗, 白芷, 甘草	1)胡麻散⇒ 治風熱癩疹 遍身瘙癢 或瘡疥及紫白癩風 2)清肌散⇒ 治癩疹 或赤白斑疹瘙癢)
21	脈因證治 ²⁹⁾	1)消毒湯	升麻根, 羌活, 藥木, 細辛, 柴胡, 葛根, 黃芩, 生地黄, 黃連, 藥, 連翹, 紅花, 歸, 蘇木, 白朮, 蒼朮, 陳皮, 吳茱萸, 防風, 甘草	
22	醫門寶鑑 ³²⁾	1)清肌散 2)升麻葛根湯 3)蓮翹敗毒散 4)解毒湯 5)消風散 6)理中湯 7)防風通聖散	羌活, 獨活, 柴胡, 前胡, 枳殼, 桔梗, 川芎, 赤茯苓, 人參, 甘草, 薄荷, 荊芥, 防風, 天麻, 蟬殼 葛根, 白芍藥, 升麻, 甘草 羌活, 獨活, 柴胡, 前胡, 桔梗, 川芎, 赤茯苓, 金銀花, 枳殼, 蓮翹, 防風, 荊芥, 薄荷, 甘草 黃芩, 黃連, 黃柏, 梔子 荊芥, 甘草, 人參, 茯苓, 白僵蠶, 川芎, 防風, 藿香, 蟬殼, 羌活, 陳皮, 厚朴 人參, 白朮, 乾薑, 甘草 滑石, 甘草, 石膏, 黃芩, 桔梗, 防風, 川芎, 當歸, 赤芍藥, 大黃, 麻黃, 薄荷, 蓮翹, 芒硝, 荊芥, 白朮, 梔子	1)清肌散⇒ 治赤白癩疹瘙癢 2)升麻葛根湯⇒ 治溫病及時令感冒) 3)蓮翹敗毒散⇒ 治癩疽初憎寒壯熱甚似傷寒頭痛拘急 4)解毒湯⇒ 治一切熱毒 5)消風散⇒ 治諸風上攻頭目昏眩鼻塞耳鳴皮膚麻痺及婦人血風頭皮腫痒 6)理中湯⇒ 治太陰腹痛自利不渴 7)防風通聖散⇒ 治諸風熱或中風不語暴瘖語聲不出或洗頭風破傷風諸般風掃小兒驚風積熱或瘡疹黑陷將死或傷寒疫癘或頭生白屑或面鼻生紫赤風刺癩疹肺風瘡或大風癩疾或風火鬱甚腹滿瀉痛或熱結大小便不通並解酒傷熱毒

No.	書名	治方	構成藥物	備考
23	醫宗金鑑 ³⁰⁾	1)秦艽牛蒡湯 2)當歸飲子	秦艽, 牛蒡子, 枳殼, 麻黃, 犀角鎊, 黃芩, 防風, 甘草, 黑參, 升麻 當歸, 生地, 白芍, 川芎, 何首烏, 荊芥, 防風, 白蒺藜, 黃芪, 甘草	
24	濟衆新編 ³¹⁾	1)川芎茶調散 2)人參羌活散 3)消風散 4)烏藥順氣散 5)升麻葛根湯 6)清肌散	薄荷, 香附子, 川芎, 荊芥, 防風, 白芷, 羌活, 甘草 羌活, 獨活, 柴胡, 前胡, 枳殼, 桔梗, 川芎, 赤茯苓, 人參, 甘草, 薄荷, 天麻, 地骨皮 荊芥, 甘草, 人參, 茯苓, 白僵蠶, 川芎, 防風, 藿香, 蟬殼, 羌活, 陳皮, 厚朴 麻黃, 陳皮, 烏藥, 川芎, 白芷, 白僵蠶, 枳殼, 桔梗, 乾薑, 甘草 葛根, 白芍藥, 升麻, 甘草 羌活, 獨活, 柴胡, 前胡, 枳殼, 桔梗, 川芎, 赤茯苓, 人參, 甘草, 薄荷, 荊芥穗, 防風, 天麻, 薄荷, 蟬殼	1)校訂方劑大辭典卷三 1)消風散⇒ 治諸風上攻頭目昏眩鼻塞耳鳴皮膚麻痺及婦人血風頭皮腫痒 2)烏藥順氣散⇒ 治一切風疾先服此疎通氣道進以風藥 3)升麻葛根湯⇒ 治溫病及時令感冒 4)清肌散⇒ 治癩疹或赤或白癢痒荊防敗毒散加大麻薄荷蟬殼
25	蒼濟證方 ³³⁾	1)加味平胃散 2)白芍藥桂枝湯 3)加味清肌湯 4)加味升葛湯 5)金何飲 6)加味潤燥湯 7)加味理中湯 8)消風散	黃芪, 蒼朮, 蒼耳子, 防風, 石膏, 陳皮, 甘草 白芍藥, 黃芪, 桂枝, 當歸身, 牛蒡子, 紫蘇葉, 樺皮, 甘草 金銀花, 樺皮, 牛蒡子, 荊芥, 防風, 柴胡, 蟬退, 前胡, 獨活, 桔梗, 川芎, 赤茯苓, 天麻, 薄荷, 甘草 乾葛, 升麻, 白芍藥, 荊芥, 防風, 桂枝, 玄參, 金銀花, 樺皮, 牛蒡子, 甘草 金銀花, 牛膝, 白何首烏, 蒼朮, 白朮, 澤瀉, 厚朴, 木瓜, 紅花, 甘草, 乾地黃, 蔓荊子, 五味子 浮萍草, 樺皮, 牛蒡子, 熟地黃, 生地黃, 白芍藥, 玄參, 秦艽, 知母, 黃芩, 胡麻子, 防風, 甘草 金銀花, 玄參, 白茯苓, 蛇床子, 人參, 附子, 乾薑, 官桂, 甘草 石膏, 當歸, 生地黃, 防風, 蒼朮, 牛蒡子, 木通, 知母, 胡麻子, 蟬退, 荊芥, 苦參, 甘草	1)加味平胃散⇒ 治癩疹 2)白芍藥桂枝湯⇒ 治癩疹虛者 3)加味清肌湯⇒ 治癩疹 4)加味升葛湯⇒ 治癩疹 5)金何飲⇒ 治癩疹 6)加味潤燥湯⇒ 治癩疹 及全身瘙痒 並 血燥風毒症 7)加味理中湯⇒ 治濕疹 及 癩疹 8)消風散⇒ 治濕疹 及 癩疹

번호	書名	治方	構成藥物	備考
26	古今醫統大全 ³⁴⁾	1) 加味羌活散 2) 胡麻散 3) 天麻散 4) 大胡麻散 5) 爛蠶散 6) 玄參升麻湯 7) 消風散 8) 犀角消毒飲	羌活, 前胡, 人參, 桔梗, 天麻, 蟬退, 薄荷, 川芎, 枳殼, 柴胡, 茯苓, 甘草 胡麻, 荊芥穗, 苦參, 何首烏, 威靈仙, 甘草 天麻, 川芎, 升麻, 半夏, 防風, 細辛, 羌活, 荊芥穗, 蟬退, 甘草 胡麻子, 苦參, 荊芥, 何首烏, 威靈仙, 防風, 石菖蒲, 牛蒡子, 菊花, 蔓荊子, 白痰藜, 甘草 白爛蠶 玄參, 升麻, 白芷, 蟬蛻, 防風, 甘草, 黃芪 蘇州薄荷葉, 蟬蛻 防風, 鼠黏子, 荊芥, 甘草, 犀角	1) 加味羌活散 ⇒ 治風寒濕熱外搏肌膚, 發爲癩疹 2) 胡麻散 ⇒ 治脾肺風毒鬱滯皮膚, 或如蟲行, 結成痂疹, 搔癢無時 3) 天麻散 ⇒ 治風熱癩疹 4) 大胡麻散 ⇒ 治風熱癩疹搔癢 5) 爛蠶散 ⇒ 治癩疹 6) 玄參升麻湯 ⇒ 治癩疹搔癢 7) 犀角消毒飲 ⇒ 治大人小兒風鬱結, 遍身瘡疹搔癢, 或項下結核, 及小兒痘疹已出未出, 熱毒不解, 急可服此
27	增注類證活人書 ³⁵⁾	1) 黑膏 2) 葛根橘皮湯 3) 黃連橘皮湯 4) 化斑湯 5) 玄參升麻湯 6) 阿膠大青湯 7) 豬膽梔子湯 8) 調胃承氣湯	好豉, 生地黃, 豬腎, 雄黃, 麝香 葛根, 橘皮, 杏仁, 知母, 黃芩, 麻黃, 甘草 黃連, 陳橘皮, 杏仁, 枳實, 麻黃, 葛根, 厚樸, 甘草 人參, 石膏, 萎蕤, 知母, 甘草 玄參, 升麻, 甘草 豬膽, 鷄子, 苦酒 甘草, 大黃, 芒硝	1) 黑膏 ⇒ 療溫毒發斑 2) 葛根橘皮湯 ⇒ 療冬溫未即病至春被積寒所折不得發至夏得熱其寒解冬溫始發肌中斑爛癩疹如錦紋而咳心悶但嘔吐青汁服此湯即靜 3) 黃連橘皮湯 ⇒ 治溫毒發斑 4) 玄參升麻湯 ⇒ 治傷寒發汗吐下後毒氣不散表虛裏實熱厥於外故身斑如錦紋甚則煩躁譫語兼治喉閉腫痛 5) 豬膽梔子湯 ⇒ 豬膽鷄子湯; 治傷寒五六日斑出者
28	楠樓醫學大全 ³⁶⁾	1) 皮膚起疙搭搔癢方 2) 羌活湯	玄參, 沙參, 蓮翹, 防風, 荊芥, 黃芩, 紫蘇 羌活, 前胡, 人參, 桔梗, 甘草, 枳殼, 川芎, 天麻, 茯苓, 薄荷, 蟬退, 白朮	1) 皮膚起疙搭搔癢方 ⇒ 如血風瘡症 2) 羌活湯 ⇒ 療癩疹常發不止者
29	東醫臨床方劑學 ³⁷⁾	加味升葛湯	葛根, 升麻, 赤芍藥, 甘草, 荊芥, 防風, 蓮翹, 玄參, 牛蒡子, 樺皮	

번호	書名	治方	構成藥物	備考
30	漢方臨床四十年 ³⁹⁾	1)清肌散 2)承氣湯 3)加味升麻葛根湯 4)樺皮散 5)赤小豆湯 6)加味四物湯 7)加味香蘇散 8)防風通聖散 9)牛蒡散 10)加味升葛湯 11)加味敗毒散 12)小建中湯	浮萍草, 荊芥, 防風, 羌活, 獨活, 柴胡, 前胡, 桔梗, 枳殼, 川芎, 赤茯苓, 甘草, 薄荷, 天麻, 蟬退 大黃, 枳實, 甘草, 芒硝 金銀花, 櫻皮, 牛蒡子, 葛根, 升麻, 白芍藥, 荊芥, 防風, 玄參, 犀角鎊, 枳實, 山查肉, 甘草 樺皮, 山查肉, 藿香, 蘇葉, 神麩, 蘿服子, 桂皮, 浮萍草, 茯苓, 半夏, 桔梗, 甘草 赤小豆, 豬苓, 澤瀉, 赤茯苓, 桑白皮, 麻黃, 蓮翹, 防己, 木通, 當歸, 甘草 浮萍草, 生乾地黃, 赤芍藥, 當歸, 川芎, 蓮翹, 黃芩, 蟬退, 荊芥, 防風, 薄荷, 枳殼 香附子, 蘇葉, 山查肉, 葛根, 蒼朮, 牛蒡子, 陳皮, 白芍藥, 升麻, 荊芥, 防風, 甘草 滑石, 黃芩, 石膏, 甘草, 當歸, 芍藥, 川芎, 梔子, 蓮翹, 薄荷, 荊芥, 防風, 麻黃, 大黃, 芒硝, 金銀花, 玄參, 牛蒡子 牛蒡子, 荊芥, 防風, 犀角, 金銀花, 蓮翹, 黃芩, 赤芍藥, 甘草, 葛根, 升麻, 白芍藥, 荊芥, 防風, 桂枝, 玄參, 金銀花, 牛蒡子, 甘草 金銀花, 荊芥, 防風, 柴胡, 蟬退, 前胡, 獨活, 桔梗, 川芎, 赤茯苓, 天麻, 薄荷, 甘草 白芍藥, 桂枝, 當歸身, 黃芪, 炙甘草	1)清肌散 ⇒ 癩疹通治方 2)承氣湯 ⇒ 飲食物中毒으로 인한 癩疹 (承氣湯 ⇒ 校訂方劑大辭典참조) 3)加味升麻葛根湯 ⇒ 癩疹風毒 4)樺皮散 ⇒ 食中毒으로 인한 發疹과 알레르기성 赤白疹 5)赤小豆湯 ⇒ 癩疹浮腫 6)加味四物湯 ⇒ 小兒癩疹瘙癢不止 7)加味香蘇散 ⇒ 癩疹의 腹痛, 下痢, 身熱, 魚毒을 治療 8)牛蒡散 ⇒ 頑固한 癩疹을 治療 9)加味升葛湯 ⇒ 治毒癩疹 10)加味敗毒散 ⇒ 癩疹方 11)小建中湯 ⇒ 癩疹虛症
31	診療斗 優秀處方 ³⁸⁾	1)葛根湯 2)香蘇散 3)十味敗毒散 4)茵陳蒿湯	葛根, 麻黃, 桂枝, 芍藥, 甘草 香附子, 蘇葉, 陳皮, 甘草 柴胡, 獨活, 櫻皮, 防風, 桔梗, 川芎, 茯苓, 荊芥, 甘草 茵陳蒿, 山梔子, 大黃	

번호	書名	治方	構成藥物	備考
32	千金翼方 ⁴⁰⁾	1)石南湯 2)青羊脂膏 3)楓香湯 4)地榆湯	石南, 乾薑, 黃芩, 細辛, 人參, 桂心, 當歸, 芍藥, 甘草 青羊脂, 芍藥, 黃芩, 黃芪, 白芷, 寒水石, 竹葉, 石膏, 白朮, 升麻, 防風, 甘草 楓香, 芍藥, 大黃, 黃芩, 當歸, 人參, 射干, 甘草, 升麻, 蛇牀仁 地榆, 苦參, 大黃, 黃芩, 黃連, 芍藥, 甘草	1)石南湯⇒主癩疹方 2)青羊脂膏⇒主風熱赤疹瘙癢之逐手作瘡方 3)楓香湯⇒主癩疹方 4)地榆湯⇒主癩疹發瘡方
33	外臺秘要 ⁴¹⁾	1)深師散方 2)千金癩疹方 3)崔氏方 4)延年蒴藋湯方 5)深師方 6)粉散方 7)千金方 8)延年蒴藋膏 9)羌蔚浴湯	鬼箭, 甘草, 白斂, 白朮, 礬石, 防風 景天(護火草) 麻黃, 生姜, 防風, 芍藥, 芍藥, 當歸, 蒴藋子, 甘草, 獨活, 烏喙, 人參 蒴藋根, 蒴藋子, 羊桃, 楮枝, 羌蔚子, 石鹽, 辛夷人, 礬石 天雄, 胝母(知母), 牛膝, 防風, 桂心, 乾薑, 細辛, 人參, 栝樓, 白朮 烏頭, 桔梗, 細辛, 白朮 牛膝 蒴藋根, 蒴藋子, 附子, 獨活, 犀角屑, 薔薇根, 白芷, 防風, 苦參, 及己, 升麻, 白斂, 防己, 川椒, 莽草, 青木香, 蛇牀子, 蛇御草, 羌蔚子, 枳實, 茵芋 羌蔚, 蒴藋, 羊桃, 蒴藋根, 漏根蒿, 鹽	1)深師散方⇒深師療十種疹散方 2)千金癩疹方⇒千金癩疹百療不差方 3)崔氏方⇒崔氏療風疹遍身方 4)延年蒴藋湯方⇒延年塗風疹蒴藋湯方 5)深師方⇒深師療風瘙癢疹如七瘡連心中悶方 6)粉散方⇒療風瘙身體癩疹粉散方 7)千金方⇒千金療風瘙癩疹方 8)延年蒴藋膏⇒延年蒴藋膏主身癢風瘙癩疹方 9)羌蔚浴湯⇒羌蔚浴湯主身痒風瘙或生癩疹方

IV. 考 察

癩疹은 <素問·四時刺逆從論>⁴²⁾에 “少陰有餘 病皮膚癩疹”이라 하여 처음 기재되어 있으며 이후 韓醫書에는 瘡□, 風疹塊, 風痧, 風搔癩疹 등의 病名으로 기재되어 왔고 여러 治療方法들이 제시되고 있다.

癩疹의 原因에 대한 文獻的 考察로는 高⁸⁾가 原因은 邪氣在皮膚한데 風寒相折할때 또는 人體虛한데 風邪所折할때 그 외 비릿한 飲食을 먹음으로써, 情志狀態의 停滯時, 飲食의 不節制로 말미암아 胃腸間에 實熱이 蓄積되는 것으로 나타난다 하였으며, 症狀은 身體風搔而痒, 搔之隱隱而起하여 特有的 局限된 浮腫이 突然 發生하여 甚한 搔痒感을 느끼게 되며 또 突然 消散하여 조금도 痕迹을 남기지 않는다고 하였다. 크기는 적게는 麻疹에서 크게는 大豆까지 있으며 색깔로 赤疹과 白疹으로 나누고 發生部位는 全身이며 形態는 圓形, 地圖上 等이며 他臟器에 影響을 미쳐서 惡心, 嘔吐, 腹痛, 呼吸困難 등이 發生한다 하였다.

癩疹은 現代醫學의 蕁麻疹에 해당되는 疾病으로 흔히 두드러기라고 하며 알레르기 反應과 관련이 깊은 皮膚疾患의 하나이기도 하다. 두드러기의 原因을 現代醫學에서는 음식물, 약제, 식품첨가제, 감염, 심리적 요인, 물리적 요인 등⁷⁾ 다양한 因子가 제기되고 있으나 정확한 原因은 患者의 80~90%에서 여전히 확인이 안되고 있다⁴³⁾ 하였다. 두드러기는 건강하던 皮膚가 갑자기 局限性的 發赤과 浮腫을 형성하였다가 대개 몇시간이 지나면 사라지는 一過性疾患으로 蕁麻疹이라고도 하며 심한 가려움증을 동반하여 때로는 호흡곤란, 천식양 발진 등의 호흡기 症狀과 복통, 설사 등 胃腸症狀을 수반하기도 한다 하였으며 治療로는 항히스타민제를 투여하는 것이 원칙이지만 症狀이 심한 경우에는 부신피질 호르몬제를 투여하기도 하며 脫減作療法도 실시한다⁴⁴⁾ 하였다.

이상과 같이 다양한 原因에 따라서 발생하는 두드러기 즉 癩疹을 <東醫寶鑑>⁹⁾外 여러 資料를 參照하여 많이 사용된 處方과 構成藥物 및 頻度數를 調査하였다.

辨證에 대하여는 최근 中國 書籍을 위주로 조사하였는데, 風熱型, 風寒型이 10회 씩 제일 많았고, 腸胃濕熱型, 氣血兩虛型, 衝任不調型이 그 다음 頻度數를 나타내었으며, 血熱型, 血瘀型도 조금씩 조사되었다<表 1>.

辨證에 따른 治法은 風熱型은 祛風清熱利濕하고, 風寒型은 祛風散寒, 調和營衛하며, 腸胃濕熱型은 祛風解表, 通腑泄熱한다. 또한 氣血兩虛型은 調補氣血하며 衝任不調型은 調攝衝任하고 血熱型은 涼血清熱, 疏風止痒하며 血瘀型은 活血祛風하며, 治法의 頻度數는 <表 2>와 같다.

處方으로는 總 105가지가 조사되었으며, 그 중에서 2회 이상 조사된 處方은 25개 處方이었다<表 5>. 5회 이상 多用된 處方은 消風散(A), 桂枝湯, 防風通聖散, 四物湯, 二仙湯, 清肌散, 茵陳蒿湯, 八珍湯 등 8個 處方이었다. 이것으로 볼때 風寒症과 風熱症 및 氣血兩虛症의 癩疹이 많은 비중을 차지하고 있다는 것을 알 수 있다.

個個藥物의 頻度數에서는 總 139가지 藥物이 조사되었으며<表 6>, 이 중에서 5회 이상 조사된 藥物은 72種이었고, 防風이 77회로 제일 많이 조사되었다(甘草는 제외하였다). <漢藥臨床應用>⁴⁵⁾에 의거하여 72種의 藥物을 分類하면 清熱藥(清熱燥濕藥, 清熱涼血藥, 清熱解毒藥, 清熱瀉火藥을 포함)가 제일 많이 나왔고 辛溫解表藥과 辛涼解表藥의 種類도 많았는데 <表 3> 이것은 두드러기의 辨證에서 알 수 있듯이 風熱症과 風寒症의 癩疹이 제일 많이 발생한다는 것과 통할 수 있다고 생각된다.

君藥으로서의 頻度數는 辛溫解表藥이 47回, 辛涼解表藥이 20回, 清熱藥類(清熱燥濕藥, 清熱涼血藥, 清熱解毒藥, 清熱瀉火藥을 포함)가 19回, 補氣藥이 18回, 補血藥이 17回, 利水滲濕藥

이 9회의 순서였다<表 4>. 以上을 살펴보면 隱疹에 處方構成이 辛涼解表藥, 辛溫解表藥, 清熱藥, 補氣補血藥이 主가 됨을 알 수 있고 處

方의 構成에서도 위 頻度數가 많은 藥物을 中 點적으로 構成하면 좋은 效果가 있을것으로 기 대된다.

<표 1> 辨證의 頻度數 整理

No.	辨 證	頻度數	No.	辨 證	頻度數	No.	辨 證	頻度數	No.	辨 證	頻度數
1	風熱型	10	2	風寒型	10	3	腸胃濕熱型	8	4	氣血兩虛型	8
5	衛任不調型	7	6	腸胃虛寒型	3	7	血熱型	2	8	血瘀型	2
9	陰血不足型	2	10	風濕型	1	11	蟲積內擾型	1			

<표 2> 治法의 頻度數 整理

No.	治 法	頻度數	No.	治 法	頻度數
1	祛風清熱利濕	10	2	祛風散寒, 調和榮衛	10
3	祛風解表, 通腑泄熱	8	4	調攝衛任	7
5	調補氣血	6	6	養血祛風, 益氣固表	4
7	涼血清熱, 疏風止痒	4	8	溫中健脾, 調和榮衛	3
9	活血祛風	2	10	滋陰養血, 疏散風邪	1
11	健脾勝濕, 祛風止痒	1	12	息風潛陽	1
13	驅虫消積導滯	1			

<表 3> 藥物의 分類에 따른 整理

No.	分 類	藥 物	No.	分 類	藥 物
1	辛溫解表藥	防風, 荊芥, 羌活, 麻黃, 桂枝, 荊芥穗, 白芷, 白芷, 蘇葉, 細辛	2	辛涼解表藥	薄荷, 蟬蛻, 牛蒡子, 柴胡, 升麻, 浮萍草, 葛根
3	利水滲濕藥	白茯苓, 滑石, 赤茯苓, 木通, 茵陳	4	補氣藥	甘草, 人參, 白朮, 黃芪
5	補血藥	當歸, 白芍藥, 熟地黃, 何首烏	6	清熱燥濕藥	黃芩, 苦參, 黃柏, 黃連
7	清熱涼血藥	生地黃, 玄參, 牡丹皮, 犀角鎊	8	清熱解毒藥	連翹, 金銀花, 白鮮皮
9	濕裏祛寒藥	附子, 肉桂, 乾薑	10	清熱瀉火藥	石膏, 知母, 梔子
11	理氣藥	枳殼, 陳皮, 枳實	12	芳香化濕藥	蒼朮, 厚朴, 藿香
13	熄風鎮經藥	白僵蠶, 天麻, 白蒺藜	14	補陽藥	仙茅, 仙靈脾, 巴戟肉
15	活血藥	川芎, 赤芍藥	16	攻下藥	大黃, 芒硝
17	消導藥	山楂, 羅葷子	18	溫化寒痰藥	桔梗, 半夏
19	清熱化痰藥	前胡	20	祛風濕藥	獨活
21	補陰藥	胡麻仁	22	止咳平喘藥	杏仁

<表 4> 君藥의 頻度數 整理

No. 分類	君藥의 頻度數	No. 分類	君藥의 頻度數	No. 分類	君藥의 頻度數
1 辛溫解表藥	47	2 辛涼解表藥	20	3 清熱藥	19
4 補氣藥	18	5 補血藥	17	6 利水滲濕藥	9

<表 5> 治方の 頻度數 整理¹⁾

No.	治 方	頻度數	No.	治 方	頻度數	No.	治 方	頻度數
1	消風散(A)	11	36	羽液膏	1	72	加味潤燥湯	1
2	消風散(B)	3	37	麻桂各半湯	1	73	加味理中湯	1
3	消風散(C)	1	38	犀角地黃湯	1	74	天麻散	1
4	桂枝湯	10	39	桃紅四物湯	1	75	大胡麻散	1
5	防風通聖散	9	40	加味玉屏風散	1	76	僵蠶散	1
6	四物湯	7	41	涼血消風飲	1	77	黑膏	1
7	二仙湯	6	42	血府逐瘀湯	1	78	葛根橘皮湯	1
8	清肌散	6	43	烏梅丸	1	79	阿膠大青湯	1
9	茵陳蒿湯	6	44	樺皮散(A)	1	80	豬膽梔子湯	1
10	八珍湯	5	45	樺皮散(B)	1	81	調胃承氣湯	1
11	加味羌活散	4	46	加味建中湯	1	82	皮膚起疙瘡搔癢方	1
12	加味升葛湯	4	47	加味藿香正氣散	1	83	羌活湯	1
13	附子理中湯	3	48	加味建理湯	1	84	葛根湯	1
14	玄參升麻湯	3	49	加味四物湯	1	85	香蘇散	1
15	荊防敗毒散	3	50	加味平四湯	1	86	十味敗毒散	1
16	通聖散	3	51	加味四六湯	1	87	加味升麻葛根湯	1
17	補中益氣湯	2	52	平胃散	1	88	承氣湯	1
18	四物消風散	2	53	除濕胃苓湯	1	89	加味香蘇散	1
19	玉屏風散	2	54	陽毒升麻湯	1	90	牛蒡散	1
20	胡麻散	2	55	梔子仁湯	1	91	加味敗毒散	1
21	升麻葛根湯	2	56	調中湯	1	92	小建中湯	1
22	犀角消毒飲	2	57	消毒犀角飲子	1	93	石南湯	1
23	加味烏荊元	2	58	藿香正氣散	1	94	青羊脂膏	1
24	黃連橘皮湯	2	59	消毒湯	1	95	楓香湯	1
25	化斑湯	2	60	連翹敗毒散	1	96	地榆湯	1
26	散風清熱飲	1	61	解毒湯	1	97	深師散方	1
27	白蘚皮飲	1	62	理中湯	1	98	千金癰疹方	1
28	祛風散寒飲	1	63	秦艽牛蒡湯	1	99	崔氏方	1
29	荊防方	1	64	當歸飲子	1	100	延年葫蘆湯方	1
30	當歸飲子 合 玉屏 風散加味	1	65	川芎茶調散	1	101	深師方	1
31	麻黃方加減	1	66	人參羌活散	1	102	粉散方	1
32	經驗方	1	67	烏藥順氣散	1	103	千金方	1
33	十全大補湯	1	68	加味平胃散	1	104	延年葫蘆膏	1
34	加味小柴胡湯	1	69	白芍藥桂枝湯	1	105	羌蔚浴湯	1
35	加味逍遙散	1	70	加味清肌湯	1			
			71	金何飲	1			

1) 같은 이름을 가진 다른 處方

消風散(A): 荊芥, 防風, 當歸, 生地黃, 苦參, 蒼朮, 蟬退, 胡麻仁, 牛蒡子, 知母, 石膏, 甘草, 木通

消風散(B): 荊芥穗, 甘草, 川芎, 羌活, 僵蠶, 防風, 茯苓, 蟬退, 藿香, 人參, 厚朴, 陳皮

消風散(C): 薄荷, 蟬退

樺皮散(A): 樺皮, 枳殼, 杏仁, 荊芥穗, 甘草

樺皮散(B): 樺皮, 山查肉, 藿香, 蘇葉, 神麩, 蘿藦子, 桂皮, 浮萍草, 茯苓, 半夏, 桔梗, 甘草

<表 6> 構成藥物の頻度數 整理

No.	藥 物	頻度數	No.	藥 物	頻度數	No.	藥 物	頻度數	No.	藥 物	頻度數
1	甘草	135	42	金銀花	13	83	羌蔚子	3	100	紫草	1
2	防風	77	43	木通	12	84	香附子	3	101	烏梅	1
3	當歸	71	44	芒硝	12	85	石菖蒲	2	102	豆豉	1
4	川芎	67	45	浮萍草	12	86	丹參	2	103	萎蕤	1
5	芍藥	60	46	乾薑	11	87	棉花子	2	104	白芷	1
6	荊芥	58	47	葛根	11	88	桑枝	2	105	雄黃	1
7	薄荷	42	48	玄參	10	89	薑黃	2	106	麝香	1
8	人參	41	49	山楂	9	90	川烏	2	107	神麩	1
9	白朮	40	50	白芷	9	91	秦朮	2	108	赤小豆	1
10	蟬退	37	51	白茯苓	9	92	五味子	2	109	桑白皮	1
11	桔梗	37	52	黃柏	8	93	鼠黏子	2	110	竹葉	1
12	黃芩	33	53	牡丹皮	8	94	桃仁	2	111	白芨	1
13	石膏	30	54	藿香	8	95	薏苡仁	2	112	蛇御草	1
14	牛蒡子	27	55	蘇葉	8	95	砂仁	2	113	漏蘆	1
15	白茯苓	26	56	犀角	8	97	射干	2	114	楓香	1
16	羌活	25	57	何首烏	7	98	豬苓	2	115	地榆	1
17	麻黃	25	58	茵陳	7	99	川椒	2	116	鬼箭	1
18	生地黃	24	59	羅葭子	7	100	櫻皮	2	117	楮枝	1
19	知母	24	60	仙茅	6	101	防己	2	118	辛夷	1
20	梔子	23	61	仙靈脾	6	102	白礬	2	119	栝樓	1
21	枳殼	22	62	巴戟肉	6	103	礬石	2	120	石南	1
22	柴胡	22	63	杏仁	6	104	石鹽	2	121	青羊脂	1
23	蒼朮	21	64	半夏	6	105	羊桃	2	122	寒水石	1
24	蓮翹	21	65	黃連	6	106	山藥	1	123	茵芋	1
25	陳皮	20	66	細辛	6	107	山茱萸	1	124	景天	1
26	桂枝	20	67	肉桂	6	108	通草	1	125	烏喙	1
27	升麻	20	68	白鮮皮	5	109	地骨皮	1	126	天雄	1
28	大黃	20	69	白僵蠶	5	110	黨參	1	127	烏頭	1
29	熟地黃	19	70	附子	5	111	徐長卿	1	128	薔薇根	1
30	前胡	18	71	枳實	5	112	龍膽草	1	129	及已	1
31	苦參	16	72	木香	4	113	大腹皮	1	130	莽草	1
32	黃芪	15	73	澤瀉	4	114	藥本	1	131	烏蛇	1
33	天麻	15	74	威靈仙	4	115	大青	1	132	地龍	1
34	獨活	15	75	甘菊	3	116	烏藥	1	133	豬膽	1
35	胡麻仁	14	76	橘皮	3	117	蘇木	1	134	豬膏	1
36	荊芥穗	14	77	紅花	3	118	吳茱萸	1	135	童便	1
37	滑石	14	78	蔓荊子	3	119	乾葛	1	136	雞子	1
38	芍藥	14	79	乾地黃	3	120	黑參	1	137	黃酒	1
39	厚朴	13	80	牛膝	33	121	蒼耳子	1	138	苦酒	1
40	赤茯苓	13	81	蛇床子	3	122	木果	1			
41	樺皮	13	82	蒴藋根	3	123	麥門冬	1			

V. 結 論

以上과 같이 癩疹의 辨證에 따른 治法과 治方の 文獻的 考察을 통하여 아래와 같이 몇가지 結論을 얻었다.

1. 癩疹에 대한 辨證으로는 風熱型, 風寒型, 氣血兩虛型, 衝任不調型이 제일 많았고 血熱型, 血瘀型도 조금씩 조사되었다(最近의 中國 書籍에 나타난 것을 위주로 하였다).

2. 辨證에 따른 治法은 風熱型은 祛風清熱하고, 風寒型은 祛風散寒, 調和營衛하며, 腸胃濕熱型은 祛風解表, 通腑泄熱한다. 氣血兩虛型은 調補氣血을 하며 衝任不調型은 調攝衝任하고 血熱型은 涼血清熱, 疏風止痒하며 血瘀型은 活血祛風한다. 또한 頻度數는 風熱型의 祛風清熱利濕과 風寒型의 祛風散寒, 調和榮衛가 각각 10회로 조사되었다.

3. 癩疹에 대한 治方은 消風散이 11회로 제일 使用頻度가 많았으며 그 다음으로 桂枝湯, 防風通聖散, 四物湯, 二仙湯, 清肌散, 茵陳蒿湯 등의 순서였다.

4. 個個의 藥物에 대한 頻度數는 防風이 77회로 제일 出現頻度가 많았으며 그 다음으로 當歸, 川芎, 白芍藥, 荊芥, 薄荷, 人蔘, 白朮, 蟬退 등의 순서였다(甘草는 除外시켰음).

5. 藥物의 數는 清熱藥類(清熱燥濕藥, 清熱涼血藥, 清熱解毒藥, 清熱瀉火藥을 포함)가 14가지로 제일 많았고 辛溫解表藥類가 10가지로 그 다음이었으며 辛涼解表藥類도 7가지였다. 그리고 利水滲濕藥類와 補氣藥, 補血藥도 다수 포함되었다.

6. 君藥으로서의 頻度數는 辛溫解表藥이 47회로 제일 많았고 辛涼解表藥이 20회 清熱藥類(清熱燥濕藥, 清熱涼血藥, 清熱解毒藥, 清熱瀉火藥을 포함)가 19회, 補氣藥이 18회, 補血藥이 17회, 利水滲濕藥이 9회의 순서였다.

參考文獻

1. 柳志允 : 外科·皮膚科의 辨證論治, 부천, 書苑堂, pp.206~208, 1988.
2. 김구자, 황애란 譯 : Color Atlas of physiology(생리학), 서울, 고려의학, p. 60, 1986.
3. Kakayuk, H. and Midsuo, M. : Ferritin selectively suppresses Delayed type hypersensitivity responses at induction or effector phase, cell. immunol. 109, pp.75~78, 1987.
4. Kay, A. B. : Eosinophils as effector cell in immunity and hypersensitivity disorders slin, Exp. Immunol, 62 : 1~12, 1985.
5. Mitsuoka, A. et al : Delayed hypersensitivity in mice induced by intravenous sensitization with sheep erythrocytes : evidence for tuberculin type delayed hypersensitivity of the reaction. Immunology 34, 363, 1978.
6. 金璟濬·金中鎬·蔡炳允 : 回春涼膈散이 抗알레르기 및 消炎, 鎮痛, 解熱效果에 미치는 影響, 大韓外官科學會誌, Vol.7, No.1, pp.1~13, 1994.
7. 大韓皮膚科學會 刊行委員會 編著 : 皮膚科學, 서울, 麗文閣, p.104~105, 1990.
8. 高祐新·黃忠淵·林圭庠 : 蕁麻疹의 原因 및 症狀에 對한 韓醫學의 文獻的 考察, 大韓外官科學會誌, Vol. 5, No. 1, pp.101~111, 1992.
9. 許 浚 : 東醫寶鑑, 서울, 南山堂, pp.285~286, 1983.
10. 上海中醫學院 編著 : 中醫 外科學, 香港, 商務印書館, pp.106~107, 1981.
11. 尚德俊 主編 : 實用中醫外科學, 濟南市, 山

- 東科學技術出版社, pp.527~528, 1986.
12. 北京中醫學院·北京市衛生幹部進修學院中醫部 主編：中醫外科學, 北京, 人民衛生出版社, pp.152~154, 1983.
 13. 顧伯華 主編：中醫外科臨床手冊, 上海, 上海科學技術出版社, pp.337~339
 14. 孫世道 外 3人：中醫外科護理, 上海, 上海科學技術出版社, pp.115~116, 1984.
 15. 祁 坤：外科大成, 台北市, 文光圖書有限公司, pp.113, 309~310, 中華民國 68年.
 16. 成都中醫學院自考辦公室：中醫外科學, 成都, 四川科學技術出版社, pp.168~169, 1989.
 17. 梁檢輝 編：常見皮膚病中醫治療簡編, 成都, 人民衛生出版社, pp.17~18, 1986.
 18. 顧伯康 主編：中醫外科學, 北京, 人民衛生出版社, pp.288~290, 1987.
 19. 李博鑑：皮科便覽, 北京, 中醫古籍出版社, pp.121~122, 1984.
 20. 中天浩 編譯：問答式 五官外科學, 서울, 成輔社, pp.404~405, 1992.
 21. 洪淳昇：洪家定診秘傳, 서울, 大星文化社, pp.122~123, 1983.
 22. 顧伯華 主編：實用中醫外科學, 上海, 上海科學技術出版社, pp.469~471, 1985.
 23. 陳 言：陳無擇三因方, 台北市, 台聯國風出版社, pp.卷十六 4~5, 中華民國 67年.
 24. 朱丹溪：丹溪心法附餘(下), 서울, 大星文化社, pp.457~458, 1982.
 25. 朱丹溪：金匱鉤玄(卷第三; 丹溪醫集), 北京, 人民衛生出版社, pp.168, 1993.
 26. 朱丹溪：丹溪治法心要(卷一; 段階醫集), 北京, 人民衛生出版社, pp.866~867, 1993.
 27. 裴元植 著：最新漢方臨床學, 서울, 南山堂, pp.580~581, 1981.
 28. 李常和：李常和治療指針, (), 醫藥社, pp.360~361, 1986.
 29. 朱丹溪：脈因證治, 上海, 上海科學技術出版社, pp.132~133, 1984.
 30. 吳 謙：醫宗金鑑(下), 서울, 大星文化社, pp.406~407, 415~416, 1983.
 31. 康命吉：濟衆新編, 서울, 杏林書院, pp.150~151, 1971.
 32. 周命新：醫門寶鑑, 서울, 杏林書院, pp.317~318, 1971.
 33. 申卿熙：蒼濟證方, 서울, 三藏苑, pp.540~542, 1990.
 34. 徐春甫：古今醫統大全(下), 서울, 아울로스 출판사, pp.70~72, 1994.
 35. 朱 肱：增注類證活人書, 서울, 南山堂, pp.248~250, 325, 422, 459~460, 473~474, 476, 1987.
 36. 朴鎬豐：楠樞醫學大全, 서울, 相一文化社, pp.306~307, 1974.
 37. 尹吉榮：東醫臨床方劑學, , 明寶出版社, p.419
 38. 朴炳昆：漢方臨床四十年, 서울, 杏林出版社, pp.437~439, 1974.
 39. 柳基遠：診療와 優秀處方, 서울, 成輔社, pp.309~311,
 40. 孫思邈：千金要方(卷十七), 서울, 大星文化社, pp.196~197, 1989.
 41. 王 蕙：外臺秘要(上冊), 台北市, 文光圖書有限公司, pp.420~423, 中華民國 六十八年.
 42. 楊維傑 編著：黃帝內經譯解, 台北, 台聯國風出版社, p.479, 1984.
 43. 안성구 외 二人：흔히보는 피부질환, 서울, 고려의학, p.232, 1993.
 44. 新太陽社 編輯局 百科事典部：原色最新醫療大百科事典, 서울, 新太陽社, 卷五:190, 1994.
 45. 李尙仁·安德均·辛民教：漢藥臨床應用, 서울, 成輔社, 1982.

參考辭典

1. 江克明·包明蕙 編著：校訂方劑大辭典, 서울, 醫聖堂, 1991.